



市議会

だより

政策形成型議会 を目指します
協働型議会

市制施行20周年・宝暦治水完工270周年



Contents 令和7年7月発行

新しい議会構成決まる	P 2
第1回・第2回臨時会	P 3
第1回定例会	P4-5
委員会レポート	P6-7
一般質問	P8-11
こんな活動しました	P 12
gikai掲示板	P 12



新しい議会構成決まる



議長 里雄淳意

現代社会に即応する議会の姿を明示した「議会基本条例」の実践こそがこれからの議会で取り組むべき最重要課題だと考えております。そして、この歩みを進めていくうえで「諮問型議会から政策形成型議会」及び「自立型議会から協働型議会」への転換という「2つの方向性」を議会内の共通理解としていきます。



所信表明



副議長 北村富男

◎委員長 ○副委員長

常任委員会

《総務産業建設委員会》



◎片野治樹



○寺村典久



水谷武博
政和会・清流くらぶ



服部 寿
政和会・清流くらぶ



六鹿正規
民ノ風



松岡唯史
日本共産党



北村富男



里雄淳意

《文教民生委員会》



◎小粥 努



○古川理沙



川瀬厚美



浅井まゆみ
海津市議会公明党



橋本武夫
政和会・清流くらぶ



伊藤久恵
幸福実現党



近澤美佳子

議会運営委員会

◎古川理沙 橋本武夫 小粥 努 片野治樹
○伊藤久恵 松岡唯史 北村富男

南濃衛生施設利用事務組合

六鹿正規 古川理沙
北村富男

監査委員

橋本武夫

議会改革検討委員会

◎北村富男 松岡唯史 片野治樹 近澤美佳子
○橋本武夫 小粥 努 古川理沙

広報広聴委員会

◎里雄淳意 ○北村富男

議会広報紙編集部会

◎松岡唯史
○古川理沙
小粥 努
北村富男
片野治樹
寺村典久
近澤美佳子
里雄淳意

広報部会

◎橋本武夫
○古川理沙
浅井まゆみ
伊藤久恵
松岡唯史
小粥 努
近澤美佳子

広聴部会

◎片野治樹
○北村富男
水谷武博
服部 寿
川瀬厚美
六鹿正規
橋本武夫
寺村典久

第1回臨時会

2025年1月29日に第1回臨時会が開かれ、
12議案は全て全会一致で承認・可決しました。

審議結果

報告 2件
予算 3件
条例 7件

一般会計補正予算

3億1,169万3千円追加
(補正後の予算額 186億6,319万1千円)

主な補正内容	補正額
プレミアム付商品券発行補助事業の実施	4,000万円
市内事業者・農業者に対し、燃料・電気価格高騰分の一部補助	5,931万6千円
令和6年度住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり3万円給付	7,950万円
まちづくり協働センター開設に向けた環境整備にかかる費用の追加	1,089万9千円
人事院勧告に基づく人件費の増額	7,079万9千円

企業会計補正予算

収益的支出及び資本的支出359万8千円追加
(補正後の収益的支出及び資本的支出の合計額 50億6,760万8千円)

補正内容	補正額
水道事業会計 人事院勧告に基づく人件費の増額	144万円
下水道事業会計 人事院勧告に基づく人件費の増額	215万8千円

条 例

●文化会館条例の廃止

文化会館の利用停止に伴い、関係条例を廃止するもの。

●まちづくり協働センター条例

まちづくり協働センターの設置等に関する事項を規定
するため、制定するもの。

●南濃総合福祉会館ゆとりの森条例の全 部改正

子どもから高齢者まで全ての地域住民の
相互交流、社会参加の促進等を図るため、
関係条例を全部改正するもの。

第2回臨時会

2025年5月13日に第2回臨時会が開かれ、
12議案は全会一致で承認・可決しました。

審議結果

報告 8件
人事 1件
その他 3件

財産の取得

●消防ポンプ自動車1台 2,959万円
(株式会社ウスイ消防)

●高規格救急自動車1台 3,190万円
(岐阜トヨタ自動車株式会社)

《質疑》 六鹿正規議員
詳細説明を。

《答弁》 消防長
西島地内での交通事故により、全損した車を更
新するもの。

●大型水槽付消防ポンプ自動車1台 8,340万2千円
(株式会社ウスイ消防)

《質疑》 川瀬厚美議員
今回購入するのは増車か買替えか。

《答弁》 消防長
現在配備の車が21年経過し不具合があること
などから、更新するもの。

第1回定例会

令和7年度当初予算決まる!総額308億2,560万円

令和7年第1回定例会は、初日に市長より施政方針と提案説明があり、2/25～3/21までの25日間の会期で開かれました。36議案のうち、3議案において討論があり、採決の結果、賛成多数で可決。その他の案件は、全会一致で可決しました。 ※採決の結果は賛否一覧表のとおり。

審議結果

人 事	2件
予 算	18件
条 例	11件
その他	1件
発 議	3件
派 遣	1件

令和7年度会計別当初予算

(単位:千円)

区 分	令和7年度(A)	令和6年度(B)	比較(A)-(B)	
	当初予算額	当初予算額	増減額	増減率
一般会計	16,840,000	17,520,000	△680,000	△3.9%
特別会計	8,589,600	8,862,400	△272,800	△3.1%
クレール平田運営特別会計	76,400	64,300	12,100	18.8%
月見の里南濃運営特別会計	72,500	93,500	△21,000	△22.5%
国民健康保険特別会計	3,740,700	4,011,700	△271,000	△6.8%
介護保険特別会計	3,662,100	3,676,100	△14,000	△0.4%
後期高齢者医療特別会計	1,037,900	1,016,800	21,100	2.1%
企業会計	5,392,700	5,076,500	316,200	6.2%
水道事業会計	1,673,500	1,228,400	445,100	36.2%
下水道事業会計	3,719,200	3,848,100	△128,900	△3.3%
駒野奥条入会財産区会計	1,800	1,800	0	0.0%
羽沢財産区会計	1,500	1,700	△200	△11.8%
合 計	30,825,600	31,462,400	△636,800	△2.0%

令和6年度補正予算

(単位:千円)

区 分	補正額	補正後予算額
一般会計	△10,431	18,652,760
特別会計	30,319	8,976,597
クレール平田運営特別会計	△3,907	64,991
月見の里南濃運営特別会計	23,746	119,434
国民健康保険特別会計	△823	4,053,765
介護保険特別会計(保険事業勘定)	10,162	3,697,567
後期高齢者医療特別会計	1,141	1,040,840
企業会計	△200,040	4,867,568
水道事業会計	△56,288	1,162,307
下水道事業会計	△143,752	3,705,261

一般会計補正予算の主な内容

・海津市医師会病院へのペットと入院可となる施設整備費の一部補助	750万円
・(一社)養老線管理機構への沿線市町による協調補助	8,038万円
・消防ポンプ自動車の購入	3,003万円
・障害福祉サービス利用者増加に伴う給付費の増額	6,400万円
・決算剰余金の財政調整基金への積立	2億6,549万3千円

まめ解説

海津市医師会病院は、ペット(犬)同伴で入院できるようになりました。このサービスは一般病院として全国初の試みで、地域連携病院である松波総合病院で治療を受け、症状の安定後に転院した患者が利用できます。サービス開始に伴い、本市は愛犬がストレスなく過ごすためのドッグラン施設整備に対し、一部補助を行いました。

●一般会計予算(令和7年度当初予算)

《討論》

反対 松岡唯史 議員

多額の市費を負担してまで、スマートICを設置すべきではないと考える。

賛成 古川理沙 議員

4つの重点テーマを具現化した効果的な予算編成である。また、本市にとって東海環状自動車道整備促進事業も重要な施策である。

反対 二ノ宮一貴 議員

移住政策より、住民が暮らしやすいと思ってもらえるようにすべき。困難を抱える市民に、もっと寄り添ってほしい。

賛成 片野治樹 議員

市民の生命、安心・安全につながる予算である。また、市民活動の活性化やシビックプライド醸成につながる予算であると期待。

●国民健康保険特別会計予算(令和7年度当初予算)

《討論》

反対 松岡唯史 議員

7億円余ある基金を取り崩して、高すぎる国保税負担を和らげるべき。

《議員発議》

●議会基本条例

議会の基本理念、議員の活動原則等を定め、議会と市民及び市長等執行機関との関係を明らかにし、議会の目指すべき道を示すもの。具体的には、議員間討議や常任委員会による政策提言をより活発化させていくことなどを旨とする。

●議会の解散決議

市長選挙と市議会議員選挙の同時選挙による投票率の向上、経費削減、有権者や職員の負担軽減などを見込んで提出。

《討論》

反対 松岡唯史 議員

議員の任期は原則守られるべき。任期を残したまま解散することや、議員不在の期間ができることが有益なのか疑問である。

賛成 里雄淳意 議員

議会内で議論を重ね、市民の声も聞いてきた。このプロセスを踏まえ、議員が議決権を行使することこそが市民の負託に応えることである。

賛成 北村富男 議員

主に効率性の向上と選挙への関心を高めることから、賛成する。また、市民からの反対意見なども聞いていない。

 **賛否一覧表** (賛否の分かれた事件のみ掲載しています) ただし橋本議長は採決に加わりません。

議 案 名	議 決 結 果	政和会・清流くらぶ				海津市議会公明党	幸福実現党	日本共産党	f o r c a i t z	会派に属さない議員					
		水谷武博	服部 寿	伊藤 誠	里雄淳意	浅井まゆみ	伊藤久恵	松岡唯史	二ノ宮一貴	川瀬厚美	藤田敏彦	小粥 努	北村富男	片野治樹	古川理沙
3/21 議案第11号 令和7年度一般会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
3/21 議案第14号 令和7年度国民健康保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
3/21 発議第3号 議会の解散について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○

予算特別委員会 2025年3月4日、5日、6日

主な審査内容

付託された議案は令和7年度一般会計予算で、審査の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべもの。



主な質問と回答

総務関係(3月4日)

市制20周年記念事業

シティプロモーション事業 1,573万円

Q 詳細説明を。

A 合併後の20年を振り返る映像と、新たな市プロモーション映像2本とデジタル冊子の作成を考えている。他にもロゴ作成、ランディングページ、SNSでの周知を行っていく。



野外音楽フェスティバル事業 2,085万5千円

Q 詳細説明を。

A 11月23日(日)に木曽三川公園の芝生広場をメイン会場としてアーティスト数組を招き、3,000人規模での開催を予定。

Q 入場料をいただいてはどうか。

A 市制20周年を記念したイベントということで、無料で行う。

災害用トイレカー導入事業

2,200万円

Q 購入目的と詳細説明を。

A 4WDの軽トラックを2台購入する。内装には小便器1基、大便器1基、手洗い場を備え、平時は市役所駐車場に設置する。購入目的は、災害時迅速に避難所に移動し、衛生的なトイレ環境を確保するため。また、平時は市民の防災意識を浸透させるため、イベントなどで積極的に活用していく。

Q クラウドファンディングの活用についての考えは。

A 今後、担当課と運用方針を検討していく。



災害用トイレカー



教育関係(3月6日)

学校体育館(避難施設)空調設備設置等事業

2億2,628万8千円

Q 今後の工事予定と内容説明を。

A 令和7年度から4年間かけて行う。

1期目は海津小、今尾小、城山小。

2期目は海西小、石津小、下多度小。

3期目は日新中、平田中、城南中を予定。

設備については、空調方式や能力、ランニングコスト等を比較検討し判断していく。

総務産業建設委員会 2025年3月11日

主な審査内容

付託された議案は、令和7年度特別会計予算6件、令和6年度一般会計補正予算のうち本委員会の所管に属する事項の他、条例改正11件、その他1件。審査の結果、全23案件は、全て全会一致で原案のとおり可決すべきもの。



主な質問と回答

消防費 車両管理事業

Q 購入予定の消防団ポンプ車の詳細説明と今後の更新計画は。

A 普通自動車免許で運転できる車両総重量3.5t未満の車両を購入予定。市内には現在13台のポンプ車が配備されており、そのうち2台は3.5t未満の車両に更新済み。今後は順次更新していく予定。



まめ知識

道路交通法改正により、平成29年3月12日以降に取得した普通自動車免許では車両総重量が3.5t未満までの制限があり、3.5t以上ある旧型のポンプ自動車は運転できません。

クレール平田運営特別会計

Q クレール平田の経営状況は。

A 売上増加を目指して、ポップの作成や商品の陳列方法等、様々な経営改善に取組み、お客様に喜んでいただける売り場づくりを進めた結果、活気が増してきた。出荷者による農産物の売上は昨年比3割ほど増加。また、お土産品の販売も強化したことなどで収入が増加し、一般会計からの繰入金の減額に繋がった。

文教民生委員会 2025年3月12日

主な審査内容

付託された議案は、令和7年度特別会計予算3件、令和6年度一般会計補正予算のうち本委員会の所管に属する事項の他、令和6年度特別会計補正予算3件。審査の結果、6議案は全会一致で原案のとおり可決すべきもの。令和7年度国民健康保険特別会計予算は、賛成多数で可決すべきもの。



主な質問と回答

障害福祉サービス費給付事業

Q サービス利用者増加の要因は。

A 就労継続支援サービスの利用において、障がいのある方の体調やその時の状況により使用する時間や日数が変わるため。また、精神障害手帳を持つ方が増えているため。

一般介護予防事業

Q eスポーツ競技の詳細を。

A ブロック崩しや車のレースなど、楽しんで取組むことができるゲームを検討している。



まめ知識

高齢者のeスポーツは、デジタルゲームを通じて認知機能を刺激し、脳機能の活性化や認知症予防、社会参加促進などフレイル予防に役立つといわれています。

11名が登壇

川瀬厚美 議員

松岡唯史 議員

北村富男 議員

小粥 努 議員

古川理沙 議員

浅井まゆみ 議員

片野治樹 議員

伊藤久恵 議員

藤田敏彦 議員

里雄淳意 議員

二ノ宮一貴 議員



旧南濃中学校
跡地利用を考
える

川瀬厚美 議員



Q 過去、企業から跡地利用の提案もあったが進まず昨年多額の費用をかけて更地となった。昨年、他議員から跡地利用について質問があったがその後の進展は。

A 民間事業者による利活用を基本として考えている。

Q 3年前、今年1月岐阜県知事になられた江崎禎英氏を旧南濃中学校へ案内し、何か利用をと尋ねると「今や心を病む人が多い。何かできたらいい」と一言。知事になられ「不登校が全国で35万人、岐阜県で5千人。環境改善が必要」と述べられた。本市でも毎年50人ほどの小中学生が不登校。子どもたちのいじめ、自殺のニュースが後を絶たない。南濃中学校跡地にあらゆる職業のプ

口の技を見せ、聞かせ、体験させ、子どもたちが生きる道を発見できる場となるよう全国のモデルとなる県の施設ができたらと考える。ぜひ県に要望を。

A 県施設の誘致については、選択肢の一つとして検討していく。



旧南濃中学校跡地



農業の担い手
確保・育成と有
機農業推進を

松岡唯史 議員

(日本共産党)



Q 農業に関する将来像は。

A 農業は、高齢化や担い手不足といった課題に直面している。本市としては、トヨタ自動車との協定を基に、農業塾の開催やカイゼン方式の導入支援などによ

り、担い手の確保・育成に努める。

Q 本市が「オーガニックビレッジ宣言」をして、有機農業に取り組むべきと考えるがいかがか。

A 有機農業に取り組む農業者を対象とした市独自の補助制度を創設し、有機農業を推進していく。そのうえで、有機農業者が増え産地が形成されれば同宣言を行う。

上下水道管の老朽化対策

Q 埼玉県八潮市で道路陥没事故が起きたが、本市での上下水道管の老朽化対策は。

A 八潮市の事故を受け、腐食の

恐れのある管路やマンホール等の緊急点検を行ったが、異常はなかった。なお、下水道管は約80kmの管路点検調査を計画的に実施しており、令和6年度までに約半分の調査が完了。損傷が著しい箇所は対策を講じている。また、上水道管は漏水調査を5年に1回実施している。

核兵器禁止条約への参加

Q 核兵器禁止条約への政府の対応に対する見解を。

A 本市加盟の「平和首長会議」を通じて参加を要請している。



道の駅「クレール平田」の防災・観光機能の拡充を

北村富男 議員



近年、自然災害が頻発していることから、災害時における重要な避難場所や支援拠点として機能することが求められている。

❶ 道の駅「クレール平田」が「指定緊急避難場所」に指定されて

いない理由と今後の考えは。

❶ 国の水防拠点と隣接しており、駐車場の不足や出入り口が1カ所のみであることから、混雑時に車が滞留し、災害復旧活動や避難者の安全を妨げるため。今後、一時避難者の安全を確保できる状況となった際には指定する。

❷ 「クレール平田」駐車場整備の考えは。

❶ 本年度、駐車場の管理者である岐阜県から駐車場拡張と出入口の変更について前向きな回答があり、現在、具体的な実施

方法の検討が行われている。

❸ 「サイクルシティプラン」に基づく施設整備方針は。

❶ サイクルステーションとしての整備も考えており、具体的な整備方針については、自転車活用推進協議会で今後協議する。



サイクルシティプラン

❹ 「防災道の駅」への選定は。

❶ 将来的には「防災道の駅」への指定を目指していきたい。



登下校時における児童への安全対策を

小粥 努 議員



小学校低学年だけでの下校時には安全対策や支援がより必要と考える。

❶ 暑い時期など、下校時にはスクールバスを出してはどうか。

❶ 令和7年度より、徒歩での通

学距離が3km以上の1・2年生を対象に熱中症警戒アラートが発表された時、スクールバスによる下校を試験的に実施する。

❷ こどもの危険回避能力を育成する教育とは。

❶ 「子ども110番の家」の確認や地震発生時の身の守り方など総合的に取り組み、危険予測の能力を高めていく。

市民協働について

❶ 市民協働の必要性は。

❶ 20年後には、小規模自治体

で6割・7割しか職員を確保できないと推測されており、行政と市民や市民活動団体などが連携し地域の課題解決などに向けてまちづくりを進めることが必要。

❷ まちづくり協働センターの活用方針は。

❶ 市民活動団体や民間事業者による公益的な活動を総合的に支援する。また、クラウドファンディングの活用も支援していく。



狭い道路の解消について

古川理沙 議員



道路は重要な社会インフラである。特に国道258号周辺及び駒野地内は現在の交通状況からも道路の拡幅が特に必要である。拡幅する必要性を地域と共有し、機運を高めながら推進するべき。

❶ セットバックが必要な路線を把握し、機運を高めながら狭い道路の解消を進めては。

❶ すでに把握はできている。今後、通行車両のシミュレーションを行い、拡幅が必要な道路の特定を行う。また、地域住民の意見を伺うワークショップを開催し、拡幅の必要性を共有して機運を高める。

養老鉄道を活用したまちづくりについて

❶ 養老鉄道養老線を活用したまちづくりについての考えは。

❶ 駒野駅を起点に、月見の森エリアの活性化に取り組む。電動アシスト自転車を活用した周遊観光プランの検討や、月見の森ブランディング戦略の策定、養老鉄道の魅力向上の取り組みも検討する。また、養老鉄道を守る会“かいづ”などによる利用促進に資する活動もさらに後押ししていく。

❷ クラウドファンディングにより財源を確保しては。

❶ 沿線市町全体、または本市単独、いずれかの方法で実施に向けて検討する。



保育士業務の
ICTを活用し
た負担軽減は

浅井まゆみ 議員
(海津市議会公明党)



Q 保育ICTシステムの導入状況は。

A 私立認定こども園5園で保育ICTシステムを導入している。

Q 登降園の管理はどのように行われているか。

A 登降園管理機能を活用し、タブレット端末で園児の送迎やバスの乗降を管理。また、保護者が欠席や遅刻などをスマートフォンで連絡することで、クラス別の出席簿が自動作成される。この機能を活用していない園では、保育士が目視で確認し、個別に電話連絡を行っている。

Q 園児の情報記録や職員のシフト管理はどのように行われているか。

A 園児の体調や成長記録などの情報を一元管理している。シス

テム未導入の園では、手作業でシフト表を作成している。

Q システム未導入の園の今後は。

A 公立認定こども園は令和8年度からシステムを導入する予定。

誰もが安心して子育てができる
環境整備について

Q 公共施設や企業において授乳室での搾乳できる掲示板を設置しては。

A すでに公共施設には設置した。企業にも設置を働きかける。



本市が聖地巡
礼スポットにな
る取組みを

片野治樹 議員



Q 本市には県内有数の観光名所や多くの自然風景がある。「ぎふロケツーリズム協議会」に加盟し、これらを映画やドラマの撮影スポットとして提供しては。

A ロケの誘致は、本市の風光明

媚な場所や観光資源が映画やドラマなどで活用されることで多くの作品ファンが聖地巡礼として訪れる機会を生み、地域の観光振興や経済活性化、関係人口の増加やシビックプライドの醸成といった効果が期待できる。また、本市への愛着を促進する新たな「かいづふあん」の創出にもつながると考える。加えて、映像作品が海外で配信されれば、インバウンド誘客も期待できることから、まずは「ぎふロケツーリズム協議会」に加盟し、ロケツーリズムの

推進に向けて取組んでいく。

ゼロカーボンシティかいづの
取組みについて

Q ゼロカーボンシティの実現に向けた取組みの成果と今後の予定は。

A 庁舎、街路灯、防犯灯の高効率照明の導入のほか、廃食油から精製した燃料の公用車の活用など、温室効果ガスの排出削減を行っている。今後は産業感謝祭でのブース出展や市民向けセミナーの開催、脱炭素社会を支える人材育成に取り組む。



全国的な課題
に対する本市
の対応は

伊藤久恵 議員
(幸福実現党)



Q 社会保障関係費が毎年増加傾向。インフラの整備、維持に係る土木関係費が市の財源の中で占める割合と、財政状況資料集から見てとれる土木関係費の状況は。

A 本市の土木費の状況について、財政状況資料集では、令和4年度一般会計歳出決算は182億900万円、そのうち土木費は17億500万円となっており、歳出に占める割合は9.4%。この割合は、同規模の山口市(9.2%)や下呂市(10.9%)と比較しても大差はない。土木費は、市民生活に必要な道路、河川、公園などインフラの整備や維持管理に必要な経費。今後も限られた財源の中で必要な予算の確保に努める。

提案 平成5年度をピークにインフラ投資は減少し、土木費は約半分になっている。一方、民生費はこの30年で約3倍増加している。福祉への支出は重要であるが、基盤が崩れては困るため、土木費も重要と考える。

そこで個人や組織への補助金や負担金などのバラマキが増加していないかをチェックして、バランスの取れた予算編成をしていただきたい。



本市の農産物を使用した新商品の研究開発について

藤田敏彦 議員



Q 駒野工業団地に進出した(株)湖池屋に、南濃みかんを使った新商品開発と商品への海津市産のジャガイモを使用するように協力を求めることはできないか。

A (株)湖池屋、岐阜県、本市の三

者において、(株)湖池屋の商品の素材として使用することのできる農産物について協議を行っている。

Q ジャガイモの試験栽培、土壌改良を行っているのか。

A 試験栽培では、種芋の手配、栽培指導は(株)湖池屋によって行われており、ジャガイモは全て(株)湖池屋に出荷される。土壌改良は試験栽培の結果を踏まえて検討する。(株)湖池屋中部工場(完成予想図)



Q 今後の進め方や体制はどのように考えているのか。

A いろいろな課題が出てくと思うが、課題解決に向けた体制を(株)湖池屋、岐阜県、JAなどの関係機関と構築し、ジャガイモの産地化を目指して取り組む。



海津明誠高校との包括連携協定について

里雄淳意 議員
(政和会・清流くらぶ)



Q 包括連携協定の目的は。

A 若い世代の豊かな発想力や行動力を活かして、地域の活性化と同校の魅力化を図り、賑わいと活力あるまちづくりを実現することを目的に2月27日に協定

締結した。海津明誠高校は、志願者数が募集人数を下回る「定員割れ」が続いており、本市も学校の存続に危機感を抱いている。子育て世代の流出につながる地元高校の閉校を避けるためにも、同校の魅力化と地域の活性化を地域全体で進めていく必要があると考えている。

Q 「高校生未来創造プロジェクト」の内容は。

A 特に、令和7年度は市制施行20周年記念事業を一年を通じて実施するため、多くの高校生に

参加してもらい一緒にまちの魅力を作りあげたい。

Q 協定の連携事項を推進するためには、業務を専属で担当し、庁内外の地域連携をコーディネートできる特命職員のような人員配置を検討すべきではないか。

A 取組みの推進においては、専属職員を配置するのではなく各部局の若手職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、全庁的に取組んでいく。



発達支援・障がい児者支援の充実を

二ノ宮一貴 議員
(forかいづ)



行政の役割は、「支援がないと生きていくことが困難な人に必要な支援を提供すること」であるが、障がいといっても人によって違うため、「オーダーメイドの支援」が必要である。

Q 発達支援・障がい児者支援について、現状と今後は。

A 発達支援センター「くるみ」では、保育士2人、学校教諭1人、非常勤の臨床心理士1人を配置しているが、相談件数が増加傾向のため、令和7年度から臨床心理士の勤務日数を増やし、よりきめ細かな支援をしていく。また、近年、障がいに限らず生活困窮や介護など多分野にわたる複雑化・複合化した相談が増えているため、令和7年度より基幹相談支援センター「ぱれっと」を社

会福祉課内に置き、支援ニーズに合った相談対応が行えるよう、支援体制を整えていく。

Q 就労支援について、現状と今後は。

A 海津特別支援学校では、地元企業の協力を得て、就労を目指す生徒に職場体験を実施しているが、令和7年度からは就労支援事業所から一般企業へ就職するステップアップの機会を拡げるため、海津市商工会と連携し、企業とのマッチングを行う仕組みづくりに取り組む。

より良きまちへ!市議会からの政策提言

行政視察や委員会協議会を開催しながら調査研究を重ね、3月、市長に政策提言をしました。本市の今後の発展と市民の生活向上に寄与するものと考えており、提言だけに留まらず、今後の取組み状況を注視して参ります。



総務産業建設委員会

●住環境の整備

人口減少対策、若い世代の市外転出を抑制し、U・Iターンを促進するため、首都圏の移住定住フェアで本市の魅力を積極的にPRする。また、宿泊施設を整備し、移住定住イベントの開催や移住後の生活支援を見据えた「海津市暮らし協議会」の設立に向けた協議を提言。

文教民生委員会

●行政×高校生(高校生の行政参画)

小学校～高校までの包括的なふるさと教育の推進、若者の居場所づくりを進め、本市への興味関心を深める。さらには、海津明誠高校の魅力化や高校・大学との包括連携協定を活かした高校生の行政参画の仕組みづくりを提言。

あれこれ

gikai揭示板

その1 「出張! 議員と語ろう会」 募集

応募
フォーム

市民の皆さんのお声を政策に反映していくために、皆さんの想いをお聴きしたいと考えております。お気軽にお申込ください。

その2 かいづキラリ 募集

募集



海津市のヒト・モノ・場所を私たちが取材させていただきます。自薦他薦は問いません。ぜひ、皆さんの活動やPRにもご活用ください。ご応募お待ちしております。

その3 インスタグラム はじめました

公式アカウント(海津市議会)開設しました。



@kaizu_shigikai

フォローお待ち
しています

編集後記

この度の改選に伴い、議会広報紙編集部会も部員の入替えがありましたが、改選前に引き続き部長を務めさせていただくことになりました。

これまでも部員全員で話し合い、レイアウト・掲載内容の工夫や、読みやすいデザインを心掛けてきました。

しかし、選挙中に市民の方から「市議会だよりを読んだことがない」とのお声をいただき、まだまだ改善の余地があると感じています。

前例にとらわれず、新部員の斬新な意見にも期待しつつ、部員全員でより良い「市議会だより」を目指していきます。(松岡唯史)

議会広報紙編集部会

部長	松岡唯史
副部長	古川理沙
部員	小粥 努
	北村富男
	片野治樹
	寺村典久
	近澤美佳子
	里雄淳意